

熊本県立八代東高等学校



食品ロス防止プロジェクト～ビジネスの力で農家を幸せにしたい～

【事業内容】地元企業と連携し、八代の規格外野菜を用いた新商品を開発・販売を行っている。農家にとって規格外野菜は費用となる。規格外の野菜をビジネスの力で収益に変えることができれば、農家の費用負担を減らすことにつながり、幸せになれる一つの要因になるのではないかと考え、このプロジェクトを開始した。



農家インタビューその1
(林田さん)白菜・ブロッコリー農家



農家インタビューその2
トマト農家



ドライトマトとケチャップ
(規格外のトマト使用)

トマト加工所の存在を知る！！



①八代の農家の現状調査

トマト・ブロッコリー・白菜、さつまいもを栽培している農家で農業体験をするとともに農家の現状についてインタビューを行った。ここで規格外野菜を使用した商品の存在を知る。



トマト加工所のJAやつしろ西郡さんにお話を伺いました！

・15年前より農家から規格外の野菜をどうにかできないかと相談を受け、八代トマト加工所ができた



製造の様子



1日に廃棄されるトマトたち！！
目の前のコンテナ全て

③トマト加工所とJAやつしろへの施設訪問

規格外野菜を使用した商品開発を調査。トマトケチャップ・ピューレ、ドライトマトが商品化されていた。私たちが規格外野菜を用いた商品作れないか！！

講演

株式会社HOSHIKO Linksの富永様より



④規格外野菜を使った商品開発
規格外野菜を扱う(株)HOSHIKOリンクス様・サニーサイドファーム様から商品開発のノウハウを学び試作を開始。

⑤地元八代や県内で起業された個人事業主様とのコラボレーションで商品開発
「やつしろサニーサイドファーム」「フェルムカトリーヌ」(今年度)「コミーダ・デ・バタタ」(昨年度)等、個人事業主様の御協力をいただき、商品開発を進めています。



開発した商品、規格外トマトを使用したミネストローネ等



「東高マーケット」にて販売決定！！



○規格外野菜を用いた商品を販売・宣伝
→ 食品ロスの意識を高めたい
○規格外野菜の消費量拡大を狙う→収益化



八代東高校HP



東高マーケットHP

⑥販売実習「東高マーケット」にてテスト販売

開発した商品を本校の販売実習「東高マーケット」にてテスト販売を行います。(日時：11/30、12/1日)規格外野菜を使用した商品を宣伝・販売することで食品ロスへの関心を高めるとともに、今回開発した商品をお客様に評価していただき、より魅力的な商品になるように改良していきたい。